

(仮訳)

ひろしま緊急アピール  
国際的な核軍備管理・軍縮・不拡散協定を堅持せよ

2019年8月22日

以下に署名したひろしまラウンドテーブル参加者と広島県知事は、核兵器使用のリスクの高まり、核軍備管理・軍縮を取り巻く状況の継続的な悪化、ならびに核兵器不拡散条約（NPT）を基盤とする核不拡散体制の信頼性と有効性が損なわれる危機を深く憂慮している。このため、我々は、核軍備管理・軍縮・不拡散協定を堅持し、さらに前進させ、平和と安定を維持するために、緊急アピールを行う。

1. 遺憾なことに、INF 条約（中距離核戦力全廃条約）は破棄された。中距離ミサイルのいかなる軍備競争も不安定化を招く結末となることを踏まえ、我々はすべての国に、最大限の抑制を行うこと、ならびに相互抑制のすべての可能性を検討することを強く求める。
2. 新 START（新戦略兵器削減条約）の期限をさらに5年間延長するとの選択肢を行使することは極めて重要である。これにより、安定性を維持し、後継となる条約の交渉を行う時間的猶予を与えることができる。我々はまた、締結国に、開発中の新型の戦略攻撃兵器、ならびに戦略防御兵器を管理する手段について議論するよう求める。
3. CTBT（包括的核実験禁止条約）は、核兵器の拡散および軍備競争の重要な抑制である。我々は、CTBT の一刻も早い発効のために、関係国に対して条約に署名・批准するよう求める。条約発効までの間、すべての国は条約の目標と目的を損なう活動を行わないようにすべきである。
4. JCPOA（包括的共同作業計画）は、中東および世界における不拡散の達成において重要かつ効果的な貢献を果たしてきた。我々は、ある参加国による JCPOA からの一方的な離脱決定を強く遺憾に思い、すべての参加国に多国間で交渉されたコミットメントを引き続き堅持するよう求める。

(In Alphabetical order)

ABE Nobuyasu

AKIYAMA Nobumasa

CHUN Yungwoo

Tytti ERASTO

Gareth EVANS

FUJIWARA Kiichi

HIROSE Kentaro

G. John IKENBERRY

Anton KHLOPKOV

KURIZAKI Shuhei  
Jeffrey LEWIS  
MOON Chung-in  
MUKAI Wakana  
Deborah G. ROSENBLUM  
Scott D. SAGAN  
SHEN Dingli  
SHIBAI Kiyohisa  
Ramesh THAKUR  
TOSAKI Hirofumi  
YUZAKI Hidehiko  
ZHAO Tong